



令和3(2021)年度 学校経営計画 各学年重点目標と達成方法

		中学2年 2021年度重点目標																		
重要度 [4]大変に重要 [3]やや重要 [2]あまり重要でない [1]重要でない  達成度 [4]75～100% (ほぼ達成した) [3]50～74% (まあまあ達成した) [2]25～49% (あまり達成できなかった) [1]0～24% (ほとんど達成できていない)	項目2	①「学力向上に向けて」																		
		目標	①グローバル人材の育成を進めていく。基礎学力の向上、学習意欲の喚起を行なっていく。																	
			②生徒が「今だからできること」に目を向けて自ら学ぶ姿勢、自分の意見を表現する姿勢を定着できる授業を展開していく。																	
			③自らの意欲を高めていくために、各種検定に目標値を設定し、取得させていく。																	
		達成方法	①「スコラ手帳」を活用し、昨年度から「一歩進んだ」形の学習のスケジュール管理ができるように指導していく。学年通信や学級通信(学年ガイダンス)や授業を通して学習法について積極的にアドバイスを行う。各種小テストや補習などの取り組みを可能な限り行い、基礎学力の定着化を進めていく。(オンライン授業や講習も含む)																	
			②授業内でタブレットPCを積極的に活用し、思考・意見交換の機会を積極的に設定する。また、manaba・スタディサプリ・ロイノートの活用や各教員が作成した教材(オンライン教材)等を活用し、自ら学習する習慣の定着を図るようにしていく。																	
		③進路実現のために主軸となる「英語」の習得の目標となる英検3級の90%合格を目標とし、数検や漢検、その他個人の興味のある検定にも積極的に取り組む姿勢を育てる。																		
	項目3	②「生きる力育成に向けて」																		
		目標	①「日常の五心」を実践させ、基本的な生活習慣の基礎をしっかりと身につけさせる。																	
			②社会人に必要な生活の基礎となる「けじめのある生活の構築」「自主・自律の精神の構築」を目指し、学力と人間力の繋がりを意識できるように指導していく。																	
		③道徳や礼法、ピアサポートを通して、豊かな心を養っていく。																		
達成方法		①元気な挨拶・時間厳守・整理整頓・日々感謝の心を持つ等の、基本的習慣の指導をしていく。																		
		②ガイダンスや集会、日々のLHRやHR、各種式典でメモを取ることを身体化させ、「聞く」姿勢を身に付けさせる。また、その振り返りを行うことで意識づけをしながら実践に繋げていく。																		
	③道徳やピアサポートなどのプログラムに積極的に参加させ、「振り返り」にしっかりと取り組ませていくことで、豊かな心を養うように努める。																			
項目3	③「学校教育環境整備と質向上に向けて」																			
	目標	①学校評価を実施することにより、改善・改革と教育活動の向上を図っていく。																		
		②開かれた学校を目指し、情報公開を進めていく。																		
	達成方法	①昨年度と同様に、コロナ禍においても可能な限りの教育活動の視覚化を進めていき、保護者からの意見を検討していく。(学年manabaや学年通信、学校だよりを利用し、適宜、情報公開を進めていく)																		
		②昨年度と同様に、定期的な学校だより・学年通信・学級通信・生徒部通信・進路部通信等を通して、積極的に活動報告や情報公開を進めていく。																		
	項目1	項目2	項目3																	
	重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度														
	部署コード/平均	3.80	3.00	3.90	3.10	3.80	3.10													
	1	4	3	4	4	4	3													
	2	4	3	3	3	3	3													
	3	4	3	4	3	4	3													
	4	4	3	4	3	3	3													
	5	4	3	4	3	4	3													
	6	3	3	4	3	3	3													
	7	4	4	4	3	3	4													
	8	4	2	4	3	4	3													
	9	3	3	4	3	4	3													
	10	4	3	4	3	4	3													
<p>&lt;取組状況・次年度への課題など&gt;</p> <p>・どの項目も学年としての重要度が高いと判断し、昨年度に引き続き、先生方が一つ一つの課題に向き合って取り組んでいただきました。中学1年生次実践した「けじめある学校生活の基礎作り」を今年度も継続できたのも、学年団が統一の方向性をもって日々活動したからだと考えます。</p> <p>(例えば、担任によるスコラ手帳の定期的なチェック、日常の各クラスでの声掛けなど)その姿勢は生徒たちにも伝わると考えますので、次年度も念頭に置いて、協力して学年運営をしていきたいと考えています。</p> <p>・昨年度に続き、様々な場面で「コロナ禍」の影響が現れていると思います。項目1「学力向上に向けての取り組み」に重点を置いて活動していましたが、放課後学習や対面での講習などの実施についてはなかなか難しいところがありました。ただ、定期考査前に自主学習の機会を作ったり(オンライン期間中もZOOMにて実施)、朝学習を曜日ごとに内容を設定して実施したりする等、少しずつ「コロナ禍以前」の活動を増やしているところです。また、成績不良者へのフォローも継続していき、その上で、中・上位者への学習フォローも可能な限り実施していきたいと考えています。(生徒保護者からの要望もあるため)</p> <p>そして、それと並行して、「項目2」の目標達成に向けても継続して指導していきたいです。</p>																				

令和3(2021)年度 学校経営計画 各学年重点目標と達成方法

		中学3年 2021年度重点目標																		
重要度 [4]大変に重要 [3]やや重要 [2]あまり重要でない [1]重要でない  達成度 [4]75～100% (ほぼ達成した) [3]50～74% (まあまあ達成した) [2]25～49% (あまり達成できなかった) [1]0～24% (ほとんど達成できていない)	項目1	①「学力向上に向けて」																		
		目標	①グローバル人材の育成、基礎学力の向上、学習意欲の喚起を行ない、大学入試選抜に対応できる基礎を作る。																	
			②生徒1人1人の進路実現に向けて、職業調べやそのために進むべき大学調べを通じて自分の進路を考えさせ、学習へのモチベーションを上げる。																	
			③文科省がスタートさせた「キャリアパスポート」を実現し、学力の向上へとつなげていく。スタディサプリの活動メモにしっかりと記録させる。																	
		達成方法	①「スコラ手帳」を活用し、スケジュール管理を身体化させる。また日々の振り返りの時間を長めに取り、文章をしっかりと書き上げる力をつけさせる。MMTや妻中タイム、補習や講習を通して、生徒一人一人の学力の向上を目指す。様々なプログラムを紹介し、多様な経験を積めるように促す。																	
			②職場体験は実施できないが、現状でできることを提供し、生徒に仕事とは何かを考えさせたい。さらに希望の職業につくために必要な学力を理解させ、学習へとつなげていく。																	
	③スタディサプリの活動メモに事あるごとに記録する習慣をつけさせて、キャリアを貯めていかせる。英語検定や数学検定等を積極的に推奨し、活動メモに記録する機会を増やしていき、大学入試選抜につなげていく。																			
	項目2	②「生きる力育成に向けて」																		
		目標	①基本的な生活習慣の基礎を身に着けるため、時間管理や礼儀を自主的にできるように育てる。																	
			②道徳・特別活動・行事を通して自己肯定感を持てるようにし、それらの活動の中で最後までやり通す力を身につける。また、あらゆる機会での協働作業を体験することにより課題解決力を身につける。																	
			③様々な場面で自ら考え行動できるように育てる。																	
		達成方法	①挨拶、時間の管理の大切さを指導すると共に、自ら考え行動できるように促す。																	
②Global Arts Festival 文化の部・体育の部、合唱コンクールなどの活動に対してその意義を確認するとともに、クラスで協力しながら前向きに取り組むことで成長できるように促していく。																				
③すぐに解決策や解答を提示せずに、先のことを考えて行動する習慣をつけさせる。																				
項目3	③「学校教育環境整備と質向上に向けて」																			
	目標	①開かれた学校を目指し、情報公開を進めていく。																		
	達成方法	①定期的に学校だより、学年通信、学級通信を通して情報を発信し、学校生活の詳細を保護者に知らせる。また、学校アンケート等を共有し、改善を目指す。																		
	項目1	項目2	項目3																	
	重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度														
	部署コード/平均	3.82	3.64	4.00	3.18	3.73	3.36													
	1	4	4	4	3	3	4													
	2	4	3	4	2	4	2													
	3	4	4	4	3	4	3													
	4	4	3	4	3	4	4													
	5	3	4	4	4	4	4													
	6	3	4	4	3	3	4													
	7	4	4	4	3	3	2													
	8	4	3	4	4	4	3													
	9	4	3	4	3	4	4													
	10	4	4	4	3	4	4													
	11	4	4	4	4	4	3													
<取組状況・次年度への課題など> ①「学力向上に向けて」 「スコラ手帳」は週1回担任にチェックしてもらい、生徒の現状把握ができた。しかし、毎回提出できない生徒は少なからずいた。毎日帰りのSHRでは振り返り5分をロイノートを使って実施した。一日を振り返ることで、やるべきことが見える化した。合わせて教員側も授業の内容を振り返る機会にもなった。コロナ禍で例年のようにはいかなかったが、補習もある程度実施できて学力向上の手助けとなった。職業調べからなりたいたい職業、そのための大学調べへと移行し、インターネット上で様々な大学を知る機会を作ることができた。また、機会あるごとにスタディサプリの活動メモに記録をさせた。検定に関しても受験の機会を促し多くの生徒が成果をあげることができた。年度末に検定系の集約を次年度につなげたい。 ②「生きる力育成に向けて」 朝、登校時間が遅い生徒への声掛けや家庭への連絡、オンライン授業時においても、授業に出席していない生徒の把握や声掛けをすることができた。Global Arts Festival 文化の部・体育の部、合唱コンクールなどの活動に対して中学最高学年として、クラスごとに団結して準備や発表ができたことは素晴らしい。また、様々な場面で生徒自ら考えて行動するように進言できたが成果はまだなので、今後も続けていきたい。 ③「学校教育環境整備と質向上に向けて」 学年通信等生徒に配布するものや、オンライン時の毎朝のコースニュース等、生徒への伝達情報のほとんどをmanabaに掲載することができた。しかし、必ずしも全員に閲覧していただけのものではなかったため、今後は出来るだけ閲覧していただけるように協力を要請することが重要であると考えられた。情報は自らつかみ取るものなので、それを生徒、保護者両方に伝え続けていきたい。学校アンケートでいただいた質問等については学年通信で答えていきたい。																				



令和3(2021)年度 学校経営計画 各学年重点目標と達成方法

		高校2年 2021年度重点目標																		
重要度 [4]大変に重要 [3]やや重要 [2]あまり重要でない [1]重要でない  達成度 [4]75～100% (ほぼ達成した) [3]50～74% (まあまあ達成した) [2]25～49% (あまり達成できなかった) [1]0～24% (ほとんど達成できていない)	項目1	①「学力向上に向けて」																		
		目標	(1)希望進路の確定とそれに向けた学習習慣の定着や実力の養成 (2)ICT機器活用の習慣化、オンライン化する大学入試への対応力の向上 (3)多様な他者との関わりや協働的な学びによる学習に対するモチベーション向上																	
		達成方法	(1)校内の進路指導やガイダンスを昨年度以上に行い、希望進路の早期確定に努める。さらに、校外講師の進路講演などを踏まえて志望校の検討を進め、目標を明確化させる。一方で、日常的に朝のSHRなどを活用して、英語基礎力の強化や日本語の読解力・思考力等の育成を目指す試みを定期的に実施する。授業以外に早朝や放課後にも補習や講習を実施するのはもちろん、自主的に取り組める教材を用意し、能動的な学習を促進する。 (2)COVID-19の影響によりオンライン化が急激に進んだ世の中の動きに対応できるよう、manabaによる情報発信やロイノートによる個別指導を継続的に実施する。「夢ナビ」プログラムによって定期的に大学の講義に触れ、スタディサプリによって弱点補強動画を視聴し、ガイダンスや校外につながるオンライン学習に取り組むたびにポートフォリオ(活動メモ)に記録するなど、ICT機器の活用を習慣化させる。また、総合の時間にはPCの利用スキルの向上を目指した授業を行う。 (3)GLCでは今年度、全国高校生フォーラムや玉川大学との協働プロジェクトなどに取り組むが、こういった取り組みの成果を発信する機会を設け、学年全体にその成果を共有する。一方で、コースに関わらず校外との取り組みを紹介し、総合の授業では国際理解を深める指導などを実施する。また、SDGsについて進んだ取り組みをおこなっている方々とオンラインでつながる機会を設けるなど視野を広げ、モチベーションの向上やキャリア教育の推進を図る。但し、あらゆる試みに着手しすぎずオーバーフローの状態とならないよう、教員が調整・指導を行う。																	
	項目2	②「生きる力育成に向けて」																		
		目標	(1)生徒会活動の中心として相応しい、自立・自律した先輩となる (2)インターネットやSNS等との適切な付き合い方を指導し、ネットリテラシーレベルの更なる向上を図る																	
	項目3	③「学校教育環境整備と質向上に向けて」																		
		目標	保護者に学校の指導情報を細かく発信し、ご家庭と学校が両輪となって生徒の成長を支える体制を構築する																	
			達成方法	プリントで配布するだけでなくmanabaにも学校からの連絡を掲載し、保護者が学校から発信される情報を入力しやすいように心がける。また、対面で実施予定の定期的な保護者向け進路ガイダンスだけでなく、学習・進路に関するオンライン動画配信を定期的に行う。学年通信以外にも学年進路指導通信を発行するなど、進路情報の発信を加速させていきたい。また、こうした情報発信を多くの保護者の方々に受け取って頂けるよう、より良い発信を模索していきたい。																
			重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度												
	部署コード/平均		4.00	2.91	3.82	3.09	3.82	3.36												
1		4	3	4	3	4	3													
2		4	3	4	4	4	3													
3		4	3	4	4	3	3													
4		4	3	4	4	4	4													
5		4	3	4	2	4	3													
6		4	3	4	2	4	4													
7		4	3	3	3	3	3													
8		4	4	4	4	4	4													
9		4	2	4	3	4	4													
10		4	2	3	2	4	3													
11		4	3	4	3	4	3													
<取組状況・次年度への課題など> ① 学力向上に向けて (1)についてはできる限り実施することができたが、(2)についてはICT機器の活用についての試みや呼びかけが十分とは言えなかった。また、(3)についてはGISやフロンティアプロジェクトなどの試みに依存してしまい、学年全体の試みに昇華することができなかった。(2)・(3)の達成度が全体的な達成度の低さの原因であると分析する。次年度には、特に(2)について学年指導において事あるごとに触れていく必要があると考える。 ② 生きる力育成に向けて 情報提供はある程度おこなってきたものの、その情報に触れるための仕掛けや指導が不十分であったと分析する。また、「遅れ」や「忘れ」は学年全体として未だ看過できないレベルに留まっており、学年全体にある「なんとなく」という風潮を払拭できるよう、次年度も引き続き、強く意識して取り組みたい。 ③ 学校教育環境整備と質向上に向けて manabaの運用や学年通信の発行についてはできる限り実施することができたが、内容についてはご意見を頂くなど、改善の余地がある。また、進路指導通信の発行には至らなかったため、次年度にはより良い情報発信の方法を学年団と相談していきたい。 総評：重点目標設定の際に学年の先生方と検討させて頂き、共通理解を得られていたことで重要度がどの項目も高かったことは良かった。次年度に向けて、オンラインでも効果的に指導できる方法の模索や、「できない」ことに対する認識の甘さの改善など、克服すべき問題について創意工夫を続けていきたい。また、教員間で重点目標を再確認する機会を増やし、達成度向上に向けて軌道修正を行うようにしていきたい。																				

令和3(2021)年度 学校経営計画 各学年重点目標と達成方法

		高校3年 2021年度重点目標																		
重要度 [4]大変に重要 [3]やや重要 [2]あまり重要でない [1]重要でない	達成度 [4]75～100% (ほぼ達成した) [3]50～74% (まあまあ達成した) [2]25～49% (あまり達成できなかった) [1]10～24% (ほとんど達成できていない)	項目1	①「学力向上に向けて」																	
			目標	(1) 高校3年生における学習において「深い学び」を意識することで、急遽変化する可能性のある入試制度にも対応できる力をつけ、生徒の進路目標を実現する。																
				(2) ICT機器の活用により、情報の発信や個別最適化されたサポートができるように体制を整え、生徒の学習面・進路面・生活面のサポートを進めていく。																
			(3) 大学入試をサポートするためのシステムを学年から発信し、学校全体で受験生を支えていく体制を構築する。																	
		達成方法	(1) COVID-19の影響による大学入試の変化は今年度も引き続き起こると考えられる。その中で、変化に対応できる学力はテクニックのみでは対応できず本質的な学力が必要となる。高校3年生の対面授業の期間は短いので、その中で生徒が主体的に学べるような授業を実施することで生徒の学力向上を目指す。																	
			(2) 昨年度のCOVID-19の影響によるオンライン学習を通して、情報発信や個別対応の仕組みが出来上がった。それを今年度も活用し、manabaでの情報発信、ロイノートでの個別対応などを進めていく。その中でこれらのツールによる効果的な活用方法を検討し、今後の学年の指導にも活かせるように引き継いでいく。																	
		項目2	②「生きる力育成に向けて」																	
			目標	(1) 高校3年生として学校の中でのロールモデルとなる生徒を育成する。																
				(2) インターネットやSNS等との適切な付き合い方を指導し、生徒が受験勉強中も卒業後も適切な使い方ができるようになることを目指す。																
			達成方法	(1) 他者に対する思いやり、モラル、規範意識等については5年間指導を続けてきたが、受験期になるとこれらがルーズになる生徒も出てくる。受験学年は特別なものではないということを伝えながら、生徒指導方針に準拠した指導を変わらず続けていく。																
(2) 昨年度のオンライン授業を通して、インターネットやSNSをうまく使えた生徒とそうでない生徒に分かれた傾向がある。情報の授業および学年としての情報モラル教育を通して、ネットワークとのうまい付き合い方を自分で考えられ、卒業後も適切な使い方ができるようになることを目指す。																				
項目3	③「学校教育環境整備と質向上に向けて」																			
	目標	(1) 保護者向けのガイダンスに関して、対面指導とオンラインツールも併用しながら情報発信ができるように引き続き進めていく。特に、進路ガイダンスを充実化し、保護者が安心できる情報提供を行っていく。																		
		(2) 6年間の取り組みを整理し、今後の学校教育環境に活かせるような提案を行う。																		
	達成方法	(1) 昨年度は対面での保護者会が1回のみとなったため、その分だけmanabaを通して情報発信を行った。今年度は個別対応が増えると予想されるため、全体での説明、推薦等該当者のみへの説明、個人への説明の方法を分けた上で、進路主幹・学年・担任等発信方法を工夫していく。																		
(2) 6年間の取り組み、各年度の保護者アンケートの結果等を振り返り、学年としての取り組みが今後の学校全体の取り組みに活かせるようにまとめていく。																				
		項目1	項目2	項目3																
		重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度													
部署コード/平均		3.90	3.20	3.80	3.40	3.80	3.30													
1		3	3	3	3	3	3													
2		4	3	3	3	3	3													
3		4	3	4	4	4	3													
4		4	3	4	3	4	4													
5		4	3	4	3	4	3													
6		4	3	4	4	4	3													
7		4	4	4	3	4	3													
8		4	3	4	3	4	3													
9		4	3	4	4	4	4													
10		4	4	4	4	4	4													
<取組状況・次年度への課題など>																				
①「学力向上に向けて」 今年度もCOVID-19の影響を受けたため、対面期間とオンラインを併用する形となった。対面での指導ができた時期よりは生徒の様子を把握するのが難しくしたが、極力Gmail・ロイノート・zoomなどでのやり取りを通して対応するよう心掛けた。 情報発信に関しては、manabaを利用した的確に発信できた。特に、受験期に関しては一般受験生と進路決定者への発信を分けることで、一般受験生に向けての発信が最小限になるように工夫することができた。 学年や生徒の状況については学年担当教員にも共有するよう心掛け、学校全体で学年を見ていく雰囲気を作るようにも心掛けることができた。 以上の取り組みが最終受験結果にどのようにつながったかは、この反省の時点ではまだ未確定の部分もある。結果を分析した上で、6年間の取り組みを次年度以降につなげていきたい。																				
②「生きる力育成に向けて」 対面授業の期間が例年より少なかったため、直接の指導の機会が十分に確保できなかったのは難しい面もあるが、その中でも担任の声かけや身だしなみ検査等の取り組みにより、生徒指導面でも生徒に目を向けることができた。 また、受験に向けては校則や生徒指導方針を守ることが大事であるという点は、学年ガイダンス等でも毎回話をして啓蒙していった。特に進路決定者に関してはガイダンス等も実施して決定後の取り組みについて注意喚起をする機会を設けた。																				
③「学校教育環境整備と質向上に向けて」 保護者ガイダンス、学年保護者会等は情報の確実な伝達を優先するため、zoomを通し教室で実施することで、資料を見た上での説明を丁寧に行うことができ、的確に情報を伝えることができた。また、アーカイブも用意し、必要な情報がmanabaに掲載されている状態を維持した。 個別の進路相談は担任の先生および学年の先生で随時対応するよう心がけることができた。 進路に関する情報について、意思疎通の大切さを感じているので、今年度注意した点についてまとめることで、次年度以降につなげていきたい。																				